

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	不均質・多相体の理論解析と応用小委員会		主 査 名：源栄正人 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	構造工学や地震工学の分野において、構造材料、地盤等に対する構成則等の数理解析手法の発展に伴って多様化している。特に、連続体の不均質性に起因する「ゆらぎ」と複数の物理特性を持つ混合体の「まじり」をモデル化することが様々な物理現象を説明する上で重要となってきた。本小委員会は地盤や構造材料などを対象に、連続体の不均質や混合体のモデリングや外乱に対する不均質な連続体の挙動などに着目した数理的手法の現状把握と将来の展望を考える。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：源栄正人（東北大学） 幹事：神田克久（鹿島建設）、井口道雄（東京理科大学）、圓幸史朗（大林組）、神菌勝彦（日本大学）、小林正美（滋賀県立大学）、近藤典夫（日本大学）、薛 松濤（近畿大学）、高野真一郎（大林組）、西村敏雄（日本大学）、三辻和弥（東北大学）、吉田一博（清水建設）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	0 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東日本大震災の対応に追われ活動は休止状態
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. いったん小委員会を廃止し、新たな委員構成で今後の再スタートを検討する。